

# 第1回深良用水祭りに電源供給

4月27日の日曜日、静岡県裾野市で「第1回深良用水祭り」が開催されました。

深良用水祭りは、今から3百数十年前の江戸時代、深良村の庄屋大庭源之丞が江戸の商人友野与右衛門の協力を得て、箱根芦ノ湖からトンネルを掘り静岡側に農業用水を引いた史実をたたえて今年初めて開かれたもの。祭りでは、当時の衣装をまとった仮装行列や、緋姿の女性による田植え、ステージでは歌や踊り、そして会場の深良小学校校庭いっぱいに出店が並び盛大で賑やかに行われました。

私たちPV-Net静岡は、独立型PV発電とバッテリーでステージ電源を供給しこの祭りに貢献しました。PVの他に電気自動車3台(うち2台は会員所有)のバッテリーからも供給。イベント時の電源くらいは電力会社から買わないできれいな電気を使うか、グリーン電力証書を使うことが浸透するといいね、と思います。



長い仮装行列、(会場から大庭源之丞のお墓まで)右側のテント手前の軽トラで3枚のパネルとバッテリーを組み合わせで電気を供給するPV-Net静岡、幟やパネルによる宣伝も。



電気自動車を使つての電源供給は今回初めての経験。

左の車は伊藤博文(静岡副代表)所有。

通常は太陽光発電で充電するので燃料費はかからないとのこと。

「蛇足」 祭り会場で深良中学の生徒らが演じた「いのちの用水」のVTRを見た。幕府の説得や資金の工面など大変な苦労を重ね完成させることができた。箱根側と裾野側の両方から掘り進み1280mのトンネルを誤差僅か1m、当時の技術力にも驚かされる。

何よりも、貧困から抜け出る道を求めた村人たちの団結にも感動した。(文責 田中)